

2023年度

中等部第3回

社 会

令和5年2月4日実施

40分

〔受験上の注意〕

1. 問題は15ページまでです。
2. 解答時間は40分です。
3. 解答用紙はこの冊子の最後にあります。キリトリ線より切りはなしてください。
解答は解答用紙の所定のところに記入してください。
4. 問題用紙・解答用紙に、受験番号・氏名を記入してください。
5. 答えはすべて解答欄^{らん}に記入してください。なお、漢字で書くべきところは漢字で書いてください。

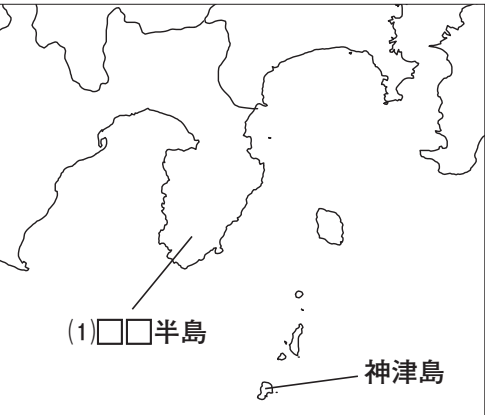
受 験 番 号	氏 名

〈はじめに〉

私たちの暮らしは、さまざまな「モノ」によって支えられています。これらの「モノ」を運ぶために、人は多くの方法を考えてきました。その最も古い方法のひとつが、船です。船の歴史について見ていきましょう。

〈最初の舟〉

約3万8000年前、現在の日本列島に人が暮らし始めた頃から、海や川などを利用して、人や「モノ」の往来があったと考えられています。その理由の一つが、関東地方の遺跡で発掘された黒曜石の中に、(1)□□半島から約30キロメートル離れた神津島原産のものがあることです。「天然のガラス」といわれる黒曜石は、旧石器時代から人々の暮らしに用いられていました。



神津島と本州の間を泳いで渡ることはできません。どのような舟が使われていたのかは想像するしかありませんが、神津島の黒曜石が本州で見つかったことは、この時代から航海がおこなわれていたという証拠のひとつです。



日本で見つかった最も古い舟は、千葉縣市川市の雷下遺跡から出土した(2)□□舟です。木を一本丸ごと使い、中をくりぬいて造られました。約7500年前の縄文時代早期に造られたと考えられています。

舟を発明した人類は、やがてオールを使うなど、舟を進めるための道具も発明しました。

日本最古の(2)□□舟
(千葉県教育振興財団文化財センター)

〈進化した(2)□□舟〉

5世紀の遺跡である宮崎県の西都原古墳からは、右のような舟の形をした埴輪が出土しました。この舟は、(2)□□舟の前後左右に板を足し、さらに水が浸入しにくいように舟の横側を高くして、中を広くしたものです。

1975年に、この埴輪を手本にして長さ16.5メートル、幅2.2メートル、14人漕ぎの舟を造り、大韓民国の釜山から福岡県まで向かう実験をおこないました。この実験により、海の状況が良ければ多くの船団が朝鮮半島と日本列島を行き来できることが分かりました。



西都原古墳出土の舟形埴輪
(西都原考古博物館ホームページ)

〈より丈夫な船〉

7世紀の前半から9世紀の間、中国大陆の王朝に派遣された遣隋使や遣唐使が用いた船には、ジャンク船の技術が使われたと考えられています。「ジャンク」とは、元々インドネシアの言葉で「船」を意味し、中国の沿岸や河川などで用いられている木で造られた帆船(帆を付けて風の力を利用して進む船)です。「ふね」には二種類の漢字があり、小型のものには「舟」、大型のものには「船」の字が当てられます。ジャンク船は、(2)□□舟と異なり、船内にたくさんの仕切りを設けることで、嵐や事故などで水が入ってきても一気に沈まないような工夫がなされていました。しかし、日本国内の物資の輸送には15世紀頃まで、帆を立てずに漕ぐ、それまでどおりの舟が使われていました。この舟は造りやすく、長持ちし、容量も十分だったからです。



ジャンク船
(第一学習社『最新世界史図表』)

1368年に中国大陆に明が建国されると、室町幕府の第3代将軍であった(3)□□□□は、明に使者を送り、国交を開きました。

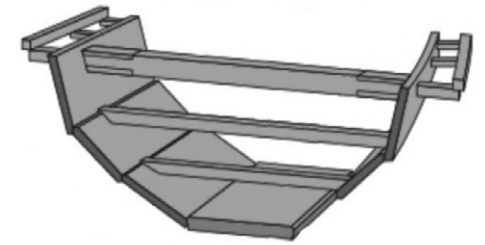
1404年から1547年までのおよそ1世紀半の間に17回、84隻の遣明船が派遣され、交易がおこなわれました。



遣明船 (船の科学館資料より)

右の図は、遣明船の断面図です。この船は、それまでの(2)□□舟や、遣唐使船とは異なる構造でした。船底に木の板を使うことで、いろいろな木材を使用できるようになり、今までよりも大きな船が造りやすくなりました。このような船を、「和船」と呼びます。

16世紀半ばに遣明船が派遣されなくなると、東シナ海では倭寇の活動がさかんになりました。



遣明船 (和船) の断面図
(ミツカン水の文化センター『水の文化』54号)

1582年に本能寺の変で(4)□□□□が明智光秀に討たれると、その後を継いだ豊臣秀吉は全国の統一を目指しました。秀吉は外国との貿易にも積極的で、外国船が訪れることを歓迎しました。そのため、倭寇などの取り締まりを厳しくするとともに、東南アジア各地との交易を許可した船に許可証を与えました。これが、後に江戸幕府を開いた徳川家康にも引き継がれた、(5)□□□貿易の始まりです。



(5)□□□ (石井謙治『図説 和船史話』)

(5)□□□の姿は、右上の絵からうかがえます。これは、1634年に長崎のある船頭が地元の寺に納めた絵馬に描かれたものです。絵には、「網代帆」という竹を薄く剥いて造った帆と、「三角帆」が描かれています。

(5)□□□は、船尾に「三角帆」を用いたり、船首楼(甲板上にある船室)を低くして、向かい風の中でも進みやすくしたりするなど、西洋のガレオン船(軍船や貿易船として用いられた大型帆船)の技術が用いられました。船首楼には、日本独特の屋倉の形が取り入れられました。

〈日本国内の船〉

江戸時代の頃になると、日本各地で船を用いた物資や人の輸送がさかんになりました。

1609年、江戸幕府は西国大名をはじめ、諸大名の持つ500石(注1)以上の軍船を奪い、造ることも禁止しました。1635年には、大名が500石積み以上の

船を所有することを武家諸法度で禁止しました。しかし大型船による物資の輸送は人々の生活に欠かせなかったため、民間で使われていた大型船についてはこの禁令から除かれました。

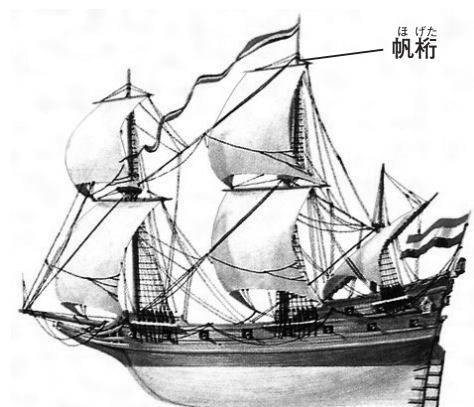
江戸時代には、大型船の象徴である「千石船」とも呼ばれた弁才（財）船が、国内の物資を輸送する船の主役として活躍しました。弁才船は、逆風や横風の中でも前に進むことができ、ヨーロッパの船のように帆柱や帆桁の上に人が登らずに船の上で操ることができました。

江戸時代に活躍したさまざまな種類の弁才船も、いくつか見てみましょう。大坂から江戸に日用品を運んだ菱垣廻船は、船に荷物を山積みするため、水の浸入を防ぐ板の上に菱形の高い囲いを立てていました。また、菱垣廻船から分かれて、おもに酒類を運ぶようになった樽廻船は、重い酒樽を船内の倉庫に積むために船体が深くなっていました。この他に、昆布などの海産物を運んだ北前船もありますが、反りがあがった船尾と大きく横に広がった船体が特徴でした。

〈蒸気船の登場〉

長い間、船を動かすために、帆が利用されてきました。しかし、18世紀に入り蒸気機関が発明されると、その技術を船に応用した蒸気船が造られるようになりました。19世紀にアメリカの技術者フルトン（1765～1815）が世界初の蒸気船クラumont号を建造してから、しだいに帆船よりも蒸気船が使われるようになりました。

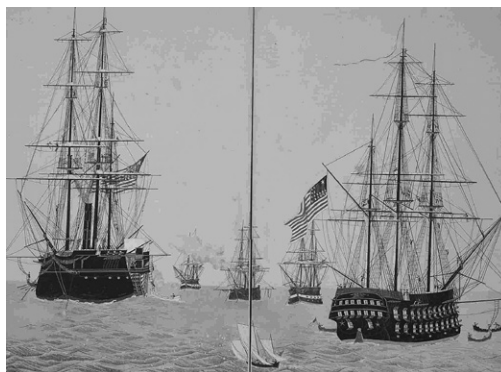
1853年6月に日本に來航した、(6)□□が率いた「黒船」と呼ばれた艦隊は、4隻のうち2隻が蒸気船でした。アメリカに対抗するため、江戸幕府は大型船の建造



ガレオン船
(小学館『日本大百科全書』)



北前船復元模型
(国立歴史民俗博物館)



黒船（東京大学史料編纂所
「(6)□□渡来絵図貼交屏風(部分)」)

を禁止する法令を解いて、ヨーロッパ式の軍艦を造ろうとしました。海外に軍艦を注文し、ヨーロッパの中古の軍艦も買い入れて軍事力の強化を図りました。

江戸幕府が最初に軍艦を注文したのは、ヨーロッパで唯一日本と正式に貿易を許されていた(7)□□□□でした。(7)□□□□に注文した本造の小型軍艦2隻のうちの1隻が、「咸臨丸」です。「咸臨丸」は、風のある時には帆走し、風のない時には蒸気機関を用いて、船を動かしました。1858年に日本がアメリカと(8)□□□□□条約を結ぶと、その2年後の1860年に、勝海舟（1823～1899）らの乗り込んだ「咸臨丸」が太平洋を渡りました。条約の批准（条約を結ぶときの最後の同意の手続き）のためにアメリカに向かう使節を護衛する役目でした。

明治時代になると、日本でも大型の蒸気船を使う輸送業者が活躍し始めました。明治政府も積極的にこれらを支援したため、やがて外国にも航路が開かれていきました。また、大型の蒸気船の多くを国内で建造できるようにもなりました。19世紀末から20世紀初めに起きた日清戦争や日露戦争では、外国で造られた軍艦で戦いがおこなわれましたが、1914年に始まった第1次世界大戦中に、日本の造船業は発展していきました。

第1次世界大戦の後、世界の国々はもう二度と戦争をしないために、世界初の平和を目指す組織である(9)□□□□を設立し、世界の国々の協調と軍縮が図られました。軍艦についても、各国で保有量を制限する条約を結びました。同じ頃、日本国内では民主政治を求める動きが活発になり、1925年には普通選挙法が制定されました。

しかしその後、日本は1931年に満州事変を起こし、2年後には(9)□□□□を脱退しました。やがて軍艦の保有量を制限する条約からも脱退し、再び多くの軍艦を造るようになりました。さらに1937年には中国大陸での戦争を始めました。(10)□□□□年にアジア太平洋戦争が始まると、日本は翌年のミッドウェー海戦で敗北し、多くの軍艦を失いました。そこで、政府は不足した船を補うため、民間の船を接収（国家などが所有物を取り上げること）し、戦争で使うようになりました。また、船大工や造船所で働く人も徴用（戦争などの非常時に、国家が国民を強制的に動員して働かせること）され、漁師や乗組員も戦争に駆り出されていきました。こうして、船を造る人も操る人も次々となくなり、外国との貿易に用いられていた国際定期航路の多くも、閉ざされていきました。

戦後、日本を統治した連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）の命令により、しばらくの間は船を造ることができませんでした。しかし、日本国内で食糧がたいへん不足していたため、日本政府は漁業を再開するための漁船を造ることを認めてほしいとGHQに訴え、一定の大きさまでの漁船を造ることが許されました。その後、規制は少しずつ緩やかになり、日本政府も支援していたため、たくさんの船が造られるよう

になりました。

1956年には、当時世界で最も多く船を造っていたイギリスを追いこし、日本の造船技術は世界的な水準に達しました。

〈おわりに〉

長い間、島国である日本にとって、船は世界とつながる大事な手段でした。そして現在でも、日本が貿易で取り引きする貨物のうち99パーセント以上は船による輸送です。大陸からの文化は船により持ち込まれ、日本の発展に船は欠かせないものでした。私たちの暮らしを支え続ける交通・輸送手段である船の歴史を振り返ると、世界が見えてきます。

注1：1石は150キログラム。500石は75トン。

おもな参考文献

- 『日本の船』石井謙治 東京創元社
- 『和と海運 江戸時代横浜の船路と和船のしくみ』横浜市歴史博物館編 横浜市歴史博物館
- 「船の科学館もの知りシート」日本財団図書館
- <https://nippon.zaidan.info/seikabutsu/2002/00033/mokuji.htm>

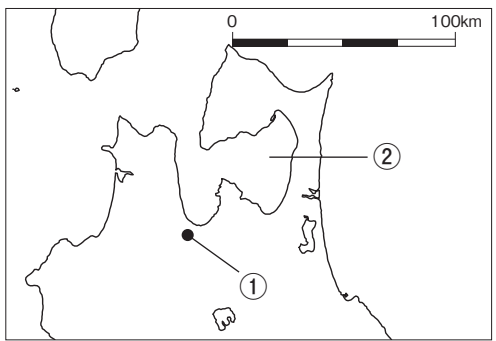
問1 文章中の空欄（1）～（10）に入る語句・数字を答えなさい。□内に1字とする。漢字で書くべき語句は漢字で答えること。

問2 下線部㉔について、次の（1）～（3）の問いに答えなさい。

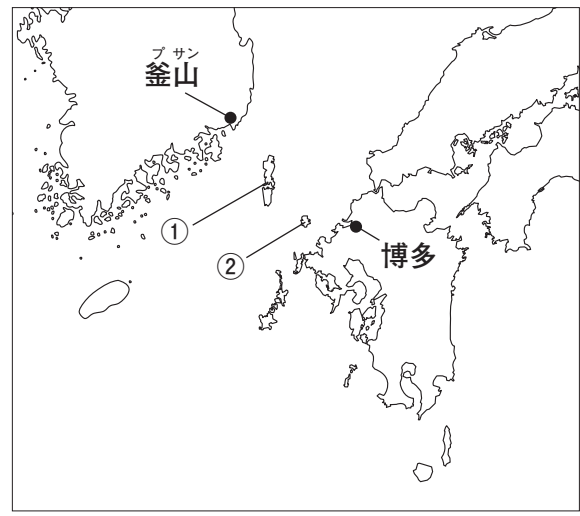
（1）右の地図中①では、縄文時代の大きな集落の跡が見つかりました。この遺跡の名前を、漢字で答えなさい。

（2）（1）の遺跡のある県の名前を、漢字で答えなさい。

（3）この遺跡からは、魚の骨や貝がらがたくさん見つかりました。これらは遺跡に面した②湾で獲れたものだと考えられています。②湾の名前を、漢字で答えなさい。



問3 下線部㉕では、3世紀の中国の歴史書『魏志』倭人伝に書かれた航路をたどりました。次の（1）（2）に答えなさい。



（1）この実験は、釜山を出発してから地図中①・②の島を通して福岡県博多を目指しました。①・②の島の名前の組み合わせとして正しいものを、次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア．①対馬 ②隠岐 イ．①隠岐 ②対馬 ウ．①壱岐 ②対馬
- エ．①対馬 ②壱岐 オ．①隠岐 ②壱岐 カ．①壱岐 ②隠岐

（2）『魏志』倭人伝には、当時の倭国の王について、次のように説明されています。空欄に当てはまる語句を漢字で答えなさい。□内に1字とする。

……其の国、本亦男子を以て王と為し、住まること7、80年。倭国乱れ、相攻伐すること歴年、乃ち共に一女子を立てて王と為す。名づけて□□□と曰ふ。鬼道に事へ、能く衆を惑はす。……

現代語訳

……その国は、もともと男の王が7、80年支配していたが、倭国が乱れて何年間も互いに攻め争うようになった。そこで女王を立てた。この女王の名を□□□といい、女王は、占いやまじないに長けており、その力で人々を従えた。

問4 下線部㉖について、次の（1）～（3）の問いに答えなさい。

（1）隋の歴史書によると、隋には使節が4回送られました。隋へ送られた使節のうち、607・608年に大使を務めた人物の名前を、漢字で答えなさい。

(2) 遣唐使の船で唐に渡った人物と、その人物に関連する語句の組み合わせとして正しいものを、次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 最澄^{さいちょう}－臨済宗 イ. 鑑真^{かんじん}－天台宗 ウ. 空海^{くうかい}－真言宗 エ. 栄西^{えいさい}－浄土宗

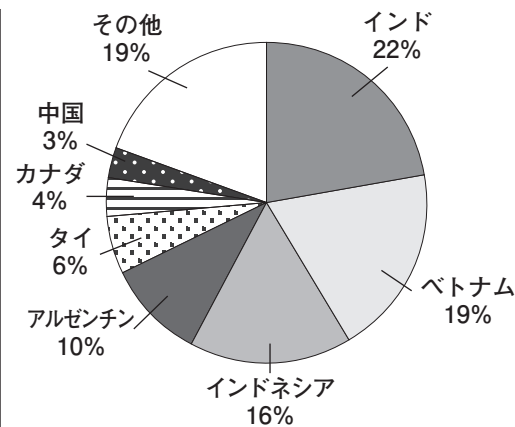
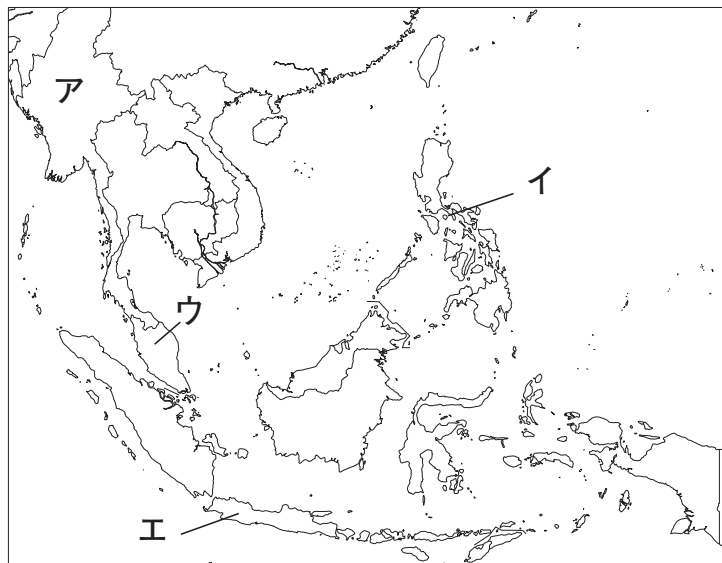
(3) 遣唐使の派遣は、894年に停止されました。派遣の停止を提案した人物を、漢字で答えなさい。

問5 下線部㉔について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 下線部㉔の場所を、次の地図中ア～エのなかから選び、記号で答えなさい。

(2) 日本は、下線部㉔から多くの水産物を輸入しています。次のグラフは、ある魚介類の国別の輸入額の割合を示したものです。この魚介類を、次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。

ア. タコ イ. エビ ウ. ホタテ エ. マグロ



データは2021年のもの

(水産庁ホームページ『我が国の主な輸入水産物の輸入相手国・地域』をもとに作成)

(3) 日本政府は、過去40年以上にわたり、下線部㉔の経済発展を援助しています。このような、政府による国際協力の活動を何といいますか。次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。

ア. ODA イ. NGO ウ. NPO エ. WTO

問6 ある人物が、後醍醐天皇^{ごだいご}による政治を退^{しりぞ}けて、下線部㉕を開きました。次の(1)(2)の問いに答えなさい。

(1) 後醍醐天皇は、1334年に年号を□□と改めました。空欄に当てはまる年号を、漢字で答えなさい。□内に1字とする。

(2) 下線部㉕を開いた人物の名前を、漢字で答えなさい。

問7 下線部㉖について、この時代に起きたこととして正しいものを、次のなかから1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 足利義政^{よしまさ}が東山に銀閣を建てた。
イ. 雪舟^{せつしゅう}が生け花を大成させた。
ウ. 千利休^{せんのりきゅう}が水墨画^{すいぼくが}を発展させた。
エ. 世阿弥^{ぜあみ}が枯山水^{かれさんすい}の庭園をつくった。

問8 下線部㉗の時期に、ヨーロッパの人々がアジア地域へやって来ました。次の(1)(2)の問いに答えなさい。

(1) この頃やって来たポルトガルやスペインの人々を、日本では□□人と呼びました。空欄に当てはまる語句を漢字で答えなさい。□内に1字とする。

(2) ヨーロッパの人々がアジア地域へやって来た理由を1つ挙げなさい。

問9 下線部㉘について、次の(1)(2)の問いに答えなさい。

(1) 下線部㉘の活動は、14世紀後半にもさかんになりました。この時期にも活動がさかんになったのは、日本のどのような状況によるものか、説明しなさい。

(2) 14世紀後半の状況から、下線部㉘と遣明船を区別するために使われたものを、漢字で答えなさい。

問10 下線部㉙を進めるために、豊臣秀吉がおこなった「刀狩り」の目的を1つ挙げなさい。

問 11 下線部㉔について、次の（１）（２）の問いに答えなさい。

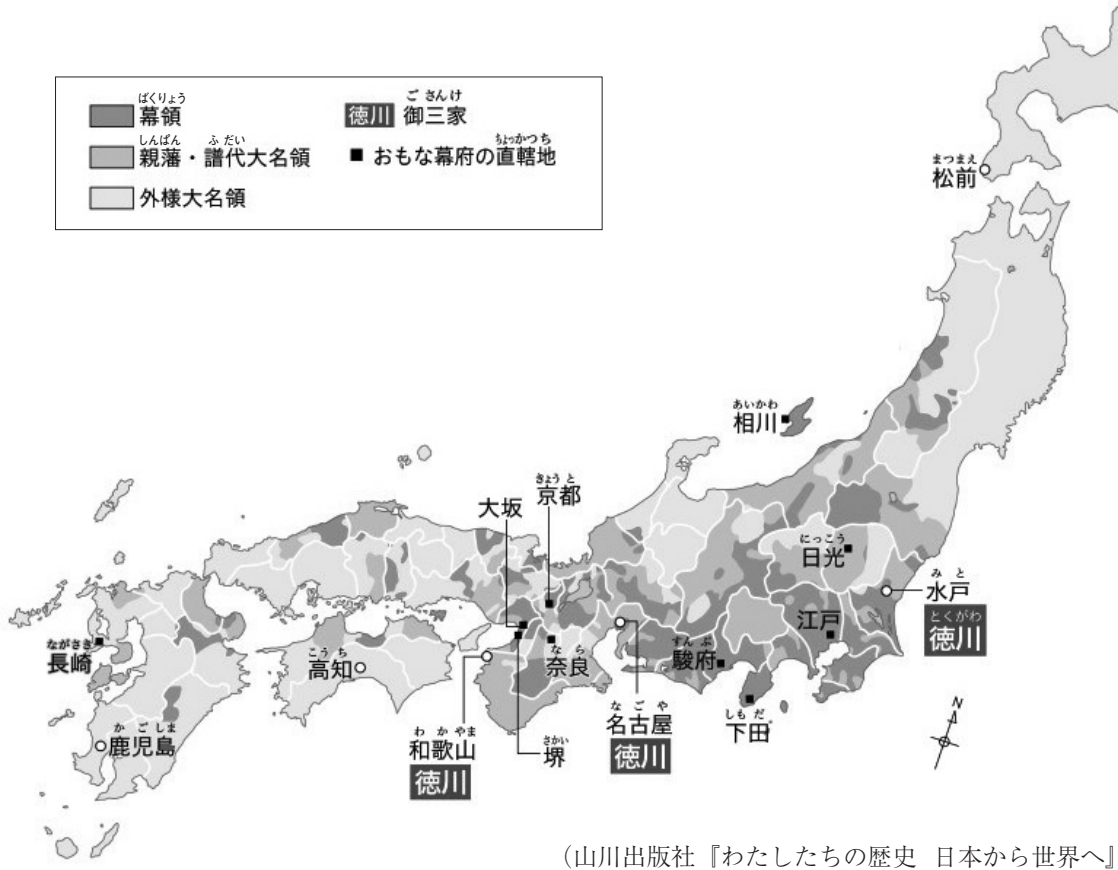
- （１）下線部㉔の人物が朝鮮との講和を成立させた後、朝鮮からの使節が訪れるようになりました。この使節を、漢字で答えなさい。
- （２）江戸幕府が開かれてから１０年後、全国にキリスト教の禁教令が出されました。幕府はどのようなことを恐れて禁教令を出したのか、１つ挙げなさい。

問 12 １６１４年・１６１５年に豊臣方についた下線部㉕などが、江戸幕府と戦いました。この２度の戦いをまとめて何というか、答えなさい。

問 13 下線部㉖は、１６１５年に初めて制定され、その後も内容を改めながら何度も出されました。次の（１）（２）の問いに答えなさい。

- （１）１６１５年に出された下線部㉖の内容として間違っているものを、次のなかから１つ選び、記号で答えなさい。
- ア.大名は、領地に城を自由に建てることができなかった。
- イ.大名は、学問と武芸の道に常に励み、努めるべきとされた。
- ウ.大名は、将軍の許可なしに、結婚することができなかった。
- エ.大名は、参勤交代の制度で、領地と江戸を往復した。

（２）次の図は、１６６４年ごろの大名たちの配置を示しています。外様大名が江戸から離れた場所に配置されている理由について、外様大名とはどのような大名かを述べたうえで、説明しなさい。



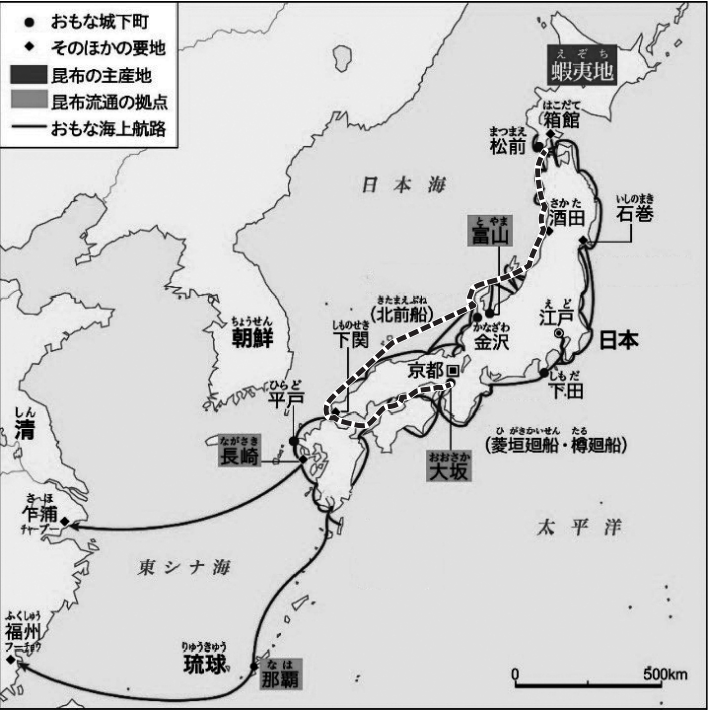
（山川出版社『わたしたちの歴史 日本から世界へ』）

問 14 下線部㉑について、次の地図は、江戸時代のおもな航路を示したものです。

次の（１）（２）の問いに答えなさい。

（１）下線部㉑が行き来した点線の航路の名前を、答えなさい。

（２）下線部㉑が運んだ蝦夷地の海産物は、琉球にも届きました。琉球は江戸時代の初め、ある藩に征服されたため、海産物はこの藩を通して琉球へもたらされました。この藩の名前を、漢字で答えなさい。



（山川出版社 『現代の歴史総合』）

問 15 下線部㉒は、太平洋を横断したことなどが評価され、特徴のある船を保存する「ふね遺産」に２０２１年に認定されました。「ふね遺産」には、１９５４年にアメリカの水爆実験で被ばくした船も認定されています。次の（１）～（３）の問いに答えなさい。

（１）この船の名前を答えなさい。

（２）（１）の船は、マグロ漁で航海していた時に被ばくしました。現在、マグロの漁獲量が最も多い都道府県を、次のなかから１つ選び、記号で答えなさい。

ア．北海道 イ．静岡県 ウ．神奈川県 エ．長崎県

（３）次の文章の空欄に当てはまる語句・数字を答えなさい。□内に１字とする。

１９７７年頃から、世界各国が、自分の国の沿岸から（ア）□□□海里までの領域を「漁業専管水域」として、他国が漁業をおこなうことを禁止し始めました。この水域を、現在では（イ）□□□□□水域といいます。そのため、問 15（１）の船がおこなっていた（ウ）□□漁業は、難しくなっていました。その結果、かつて（ウ）□□漁業による漁獲量は、漁船でおこなう漁業全体の４割を占めていましたが、１９９０年代以降は１割ほどまで減ってしまいました。

問 16 下線部㉓について、次の（１）（２）の問いに答えなさい。

（１）次の絵は、下線部㉓が進めたある政策に関するものです。丸で囲んだ部分を参考に、この政策を漢字４字で答えなさい。

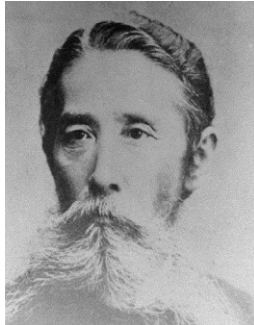


（国立国会図書館デジタルコレクション 『開化の本：初編』）

（２）右の写真の人物は、「今の政府は、一部の者によって動かされている。広く国民の意見を取り入れる□□を開くべきだ」と主張し、１８７３年に下線部㉓を去りました。

①空欄に当てはまる語を漢字で答えなさい。□内に１字とする。

②この人物の名前を、漢字で答えなさい。



（国立国会図書館）

問 17 下線部㉔の頃の日本について述べた次の文章のうち、間違っているものを、次のなかから 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 貿易では輸入より輸出が増えた。
- イ. 日本政府は中華民国に 21 か条の要求を示した。
- ウ. 戦争が開始した年に同盟国側として戦いに加わった。
- エ. 戦争中から戦後にかけて、女性の社会進出が進んだ。

問 18 下線部㉕について、次の (1) ～ (3) の問いに答えなさい。

(1) 下線部㉕により、それまであった、ある制限がなくなりました。その制限とは何ですか。

(2) 次に示したのは、選挙に関する日本国憲法の条文です。

第 15 条

- ① (ア) □□□を選定し、及びこれを罷免^{ひめん}することは、国民固有の権利である。
- ②すべて (ア) □□□は全体の奉仕者であって、一部の奉仕者ではない。
- ③ (ア) □□□の選挙については、成年者による普通選挙を保障する。
- ④すべて選挙における投票の (イ) □□は、これを侵^{おか}してはならない。

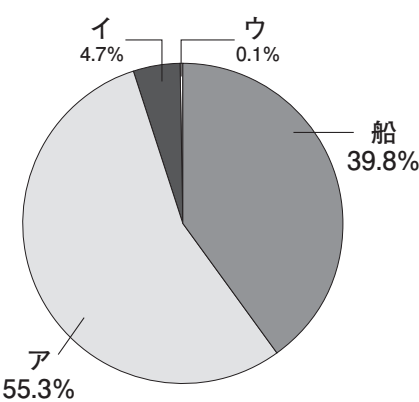
- ①空欄に当てはまる語句を、漢字で答えなさい。□内に 1 字とする。
- ②条文中の下線部「成年者」の年齢は、2018 年に法律が改正されて、2022 年から変更されました。どのように変わったか、解答欄に合わせて答えなさい。

(3) 下線部㉖が定められたのと同じ年に、治安維持法が制定されました。その理由を説明しなさい。

問 19 下線部㉗について、次の (1) (2) の問いに答えなさい。

- (1) 日本が船を使って輸入しているもののひとつに、原油があります。
 - ①2020 年時点で日本が最も多く輸入している国を、次のなかから 1 つ選び、記号で答えなさい。
ア. アラブ首長国連邦 イ. カタール ウ. サウジアラビア エ. ロシア
 - ②原油を運ぶ船のことを何といいますか。

(2) 右の円グラフは、2020 年の日本国内の輸送手段別の輸送量の割合について示したものです。約 40 パーセント近くが船により運ばれています。ア～ウは、鉄道・自動車・飛行機のいずれかに当たります。鉄道にあたるものを選び、記号で答えなさい。



(国土交通省「数字で見る海事 2022」より)

解答用紙 社 会 (第3回)

問 1	(1)			(2)			(3)					(4)				
	(5)				(6)			(7)								
	(8)							(9)					(10)			

問 2	(1)	遺跡					(2)	県					(3)	湾				
-----	-----	----	--	--	--	--	-----	---	--	--	--	--	-----	---	--	--	--	--

問 3	(1)		(2)			
-----	-----	--	-----	--	--	--

問 4	(1)					(2)				(3)				
-----	-----	--	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	--

問 5	(1)		(2)		(3)		問 6	(1)			(2)					
-----	-----	--	-----	--	-----	--	-----	-----	--	--	-----	--	--	--	--	--

()

問 7			問 8	(1)		(2)										
-----	--	--	-----	-----	--	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問 9	(1)												(2)		
-----	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----	--	--

問10															
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問11	(1)						(2)										
-----	-----	--	--	--	--	--	-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

問12					
-----	--	--	--	--	--

問13	(1)															
	(2)															

問14	(1)	航路					(2)	藩				
-----	-----	----	--	--	--	--	-----	---	--	--	--	--

問15	(1)						(2)					
	(3)	(ア)				(イ)					(ウ)	

()

問16	(1)					(2)	①			②					
-----	-----	--	--	--	--	-----	---	--	--	---	--	--	--	--	--

問17		
-----	--	--

問18	(1)						(2)	①	(ア)			(イ)		
-----	-----	--	--	--	--	--	-----	---	-----	--	--	-----	--	--

(2)	②	歳から					歳に変わった				
-----	---	-----	--	--	--	--	--------	--	--	--	--

(3)															

問19	(1)	①		②						(2)		
-----	-----	---	--	---	--	--	--	--	--	-----	--	--

()

受 験 番 号	氏 名	得 点

